

# 大津町新庁舎建設基本計画に関する答申書

平成29年8月17日付け、大政第285号で諮問のありました大津町新庁舎建設基本計画について、下記のとおり答申します。

今回の検討にあたりましては、住民説明会での意見や基本計画に関するパブリックコメント等を参考にし、慎重に検討を進めてまいりました。本答申の内容が尊重され、基本理念の反映した新庁舎が実現されることを期待します。

## 記

### 大津町新庁舎建設検討委員会における意見

- 1 配置案に関して、A案については、既存商店街との距離感は保たれる反面、敷地面積や形状の点から建築計画や施工面で制約が多く、また庁舎周辺の防災拠点としての広場の確保が困難であると同時に、県道側とオークスプラザ一帯の広場や駐車場との関係が分断される恐れがある。一方、B案・C案については、北側の広場を駐車場兼まちづくり広場としても利活用でき、加えて庁舎周辺にもオークスプラザと連携した広場空間を確保でき、将来的な人口変動等による増築等にも柔軟に対応できる。またJR肥後大津駅からの視認性の観点からも、庁舎の顔づくりがしやすい。よって、基本構想の「安全・安心で災害に強い庁舎」等の基本理念を踏まえ、B案・C案の方向で一体的に計画されたい。
- 2 親水公園については、水と緑豊かな新しいふれあい広場として整備され、新庁舎周辺の広場との連携に配慮するとともに、大津の歴史を案内するようなデザインで整備されたい。
- 3 駐車場については、実態と将来の予測を踏まえて、適正な台数確保を計画されたい。また、北側駐車場については、県道30号線沿いの商店街が一体的に利活用できるようなまちづくり広場として、イベント時にも有効活用できるように配慮されたい。
- 4 高齢者や障害のある方、乳幼児連れの方等が利用される駐車場については、駐車場から庁舎入口まで屋根付きの通路を整備する等、ユニバーサルデザインに配慮されたい。
- 5 新庁舎の窓口業務については、住民サービスの向上のため1階フロアにおいて、すべての用件が済むような利便性の高い計画に配慮されたい。

平成29年12月15日

大津町長 家入 勲 様

大津町新庁舎建設検討委員会  
委員長 田中 智之

